

2023年度事業計画

2023年5月

九州SDGs経営推進フォーラム事務局

2023年度活動方針

九州SDGs経営推進フォーラムは、2020年2月の設立から3年が経過し、現在1,000以上の会員が属するプラットフォームとして様々な活動を展開中。今年は、SDGsの目標年である2030年に向けた折り返しの年であり、世界各国で更なる取組の加速が予想される中、九州地域の現状等を踏まえながら、フォーラムの役割・活動について不断の見直し・改善を図っていく必要がある。

足下、フォーラムや自治体等の活動に紐づく形で、九州各地でSDGsに関する多様な取組が生まれている一方で、未だSDGsの普及が十分でない地域もあり、また、企業においてはSDGsを理解し社内に導入したものの、それが自社の競争力につながるまで経営戦略に落とし込めていないケースが多く存在する。

このような状況に鑑み、今後は、九州全体でのSDGs推進に向けて更なる機運醸成を図るとともに、企業のSDGs経営実践による付加価値創出を支援し、得られた成果を他企業等に波及させていくことが重要と考えられる。特に、SDGsに関連する地域・社会課題について、社会貢献の側面にとどまらず、イノベーションの芽として捉え、新たな成長機会の獲得に向けた官民共創の好循環を生み出していくべきである。

2023年度のフォーラム活動においては、①普及啓発、②交流促進、③SDGs経営の支援の三本柱をより強固にし、既存会員に向けた情報提供や支援体制の拡充に取り組むとともに、自治体・金融機関等との連携や次代を担う社会起業家等の新たなプレイヤーの発掘等に取り組む。

これらを通じ、地域企業の持続的な企業価値の向上、地域・社会課題の解決による九州地域の持続的な発展を目指す。

1. 普及啓発

- SDGsに関する取組の裾野拡大に向け、セミナーやメールマガジン等を通じた普及啓発に取り組む。

(1) セミナーの開催 (対象：会員・非会員)

企業等に対し、SDGsの基礎知識や取組事例、自社への導入方法等に関する情報を提供するため、年間を通じて複数回セミナーを開催する。

- 九州経済産業局等との連携により、「SDGs経営実践事例紹介セミナー(仮称)」や「官民共創による地域課題解決セミナー(仮称)」の開催等を検討する。その際、時勢や参加者の関心に応じたプログラムを検討するとともに、関係機関等のネットワークを活用し、新たな層の巻き込みにつながる広報に取り組む。
- KPI：開催回数 年2回以上 / 参加者満足度 各回80%以上

(2) 情報発信 (対象：①会員 / ②会員・非会員)

① メールマガジン (対象：会員)

フォーラム会員に対し、SDGs関連の最新動向、補助金等公募、フォーラムや会員の活動状況等に関する情報を提供するため、年間を通じて定期的にメールマガジンを配信する。

- 九州域内だけでなく首都圏や海外の動向についても、可能な限りタイムリーな周知に取り組む。なお、基本的にこれまでの配信形態を継続しつつ、必要に応じて文章構成の見直し等を検討する。
- KPI：配信頻度 週1回程度

② ウェブサイト・動画等のコンテンツ (対象：会員・非会員)

九州全体のSDGsに関する機運醸成、フォーラムや会員の活動状況の認知拡大を図るため、九州経済産業局ホームページ上のフォーラム専用ページを随時更新する。 <https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/kyosoryoku/sdgs.html>

- 関連施策の動きと連動した新たな情報発信チャネルの開拓、デザインアプローチを活用した広報力強化等に取り組む。

2. 交流促進

- SDGsを実践する主体のネットワーク拡充に向け、九州内外との交流機会の創出に取り組む。

(1) フォーラム会員間の交流機会の創出 (対象：会員)

SDGsに関連する地域・社会課題に対してビジネスの創意工夫を取り入れる動きを加速するため、自治体・企業等が官民共創等について体系的に学べる勉強会を開催する。

- 九州経済産業局等との連携により、「地域づくり勉強会(仮称)」や「官民連携ローカルビジネス創出ワークショップ(仮称)」の開催等を検討する。併せて、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム等を活用したマッチング支援、自治体等との更なるネットワーク構築、次代を担う社会起業家等の新たなプレイヤーの発掘等に取り組む。
- KPI：開催回数 年3回以上 / 参加者満足度 各回80%以上

(2) 分科会活動との連携 (対象：会員)

SDGsの取組の輪を広げるため、フォーラム会員が取り組む分科会活動との連携を通じて多様な主体間の協働を生み出す。

- メールマガジン等を通じて各分科会活動を周知し、フォーラムにおけるパートナーシップの拡充やマッチングの促進に取り組む。

(3) 全国SDGsプラットフォーム連絡協議会との連携 (対象：会員)

フォーラムの活動・体制をより一層拡充するため、全国SDGsプラットフォーム連絡協議会の参画主体等との連携のもと各種企画を推進する。

- 全国SDGsプラットフォーム連絡協議会をはじめ、日本全国のSDGsに関わる活動主体と連携（例：会員同士のイベント相互参加等）し、企画・広報等における相乗効果を生み出す。また、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向け、関係機関等と連携し、国内外における九州の影響力向上に資する情報発信等に取り組む。
- KPI：相互参加可能なイベント数 年5件以上

3. SDGs経営の支援

- SDGs経営の質の向上に向け、関係機関との連携により企業等の支援に取り組む。

(1) パートナー企業の選定 (対象：会員)

SDGsに関する多様なニーズに応えられるフォーラム活動の形成のため、SDGsの普及啓発やSDGs経営のサポート、地域・社会課題解決に関するノウハウを有する企業等を「パートナー企業」として選定する。

- パートナー企業の概要紹介やフォーラム会員との交流の場の設定、九州域外も含めたパートナー企業候補の新規開拓等に取り組む。
- KPI：パートナー企業数 前年度比10社増加（計57社）

(2) SDGs経営支援体制の構築 (対象：会員)

SDGs経営を通じた企業競争力の強化を促進するため、SDGs経営の導入及び高質化に関する支援体制を構築する。

- 各関係機関の専門性等を存分に活用し、フォーラム会員からのSDGs経営に関する相談対応等に取り組む。また、会員等の関心・ニーズに基づき、特定分野の情報提供の拡充等に関する企画を推進する。

(3) 関係機関等主催の研究会への開催協力 (対象：会員・非会員)

中小企業等におけるSDGs経営の導入を促進するため、関係機関等主催の研究会と連携し、具体的な実践ノウハウを提供する。

- 関係機関等との連携による研究会（例：SDGs経営実践研究会）を通じて企業等のSDGs経営を推進し、そこで得られた成果（例：SDGs経営の導入に関する効果検証結果等）を広く周知することで、地域の中核となる企業に加え、より多くの企業等へのSDGs経営の普及を図る。